

10月30日(土)・大会1日目 9:00~10:30 (組織論レビュー【2】会場) (90分)

●組織論レビュー セッション【2】

「組織における権力者の心理:社会的勢力感の先行要因と帰結」

* 佐々木秀綱 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 准教授)

* 代表報告者

[概要]

社会心理学分野を中心に、「権力は人を変える」という通念を確証するような経験的証拠が蓄積されつつある。すなわち、権力を持った人々は対人関係において自己本位的に振舞ったり、判断や推論において短絡的な傾向を示したりするというものである。本セッションでは、権力者の心理を捉える「社会的勢力感(sense of social power)」という概念に注目し、それが個人の思考・行動に及ぼす影響やその調整要因について、既存の知見を整理する。加えて、近年の理論的展開を踏まえながら、社会的勢力感を規定する組織要因についても考察する。これらの議論を通じて、組織における権力現象をより総合的に把握するための展望を探りたい。

[参加者へのメッセージ]

組織において誰が権力を握るのかという問いは、組織研究者にとって馴染み深いテーマのひとつと言えます。他方で社会心理学分野では、自らの権力を恃む人間がどのように振舞うようになるかが盛んに議論されています。これら二つの研究潮流は、継ぎ目なく容易に接続できるよう見えながら、実際には両者の間に手つかずの断層があります。本セッションは、主に社会心理学的な見地からの権力研究を紹介すると同時に、それらの知見を組織論の文脈に位置づけ、組織における権力者の心理を検討するための課題や論点を浮き彫りにしていくことを目的とします。ご参加の皆様から様々なご意見・ご感想を賜れればと思います。よろしくお願ひいたします。